

心齋橋は現存するか？



現存します。

地名ではなく「橋」として現存しています。心齋橋筋商店街と長堀通の交差点、この石畳の「横断歩道」が、実は「心齋橋」という「橋」です。

心齋橋は、江戸時代に岡田心齋という商人が架けたのが始まりとされています。木橋として架けられたのが最初です。

明治になり、当時としては斬新な鉄製のアーチ橋をドイツから輸入しました。この橋は市内で他の橋に転用され、今では鶴見緑地に保存されています。明治後半には、立派な石造りのアーチ橋に架け替えられました。昭和39年には、長堀川の埋め立てに伴い撤去されましたが、横断歩道橋として石造りの欄干やガス灯などが再利用され、明治から大正、昭和の「大大阪」を彩った頃の面影が残されていました。平成になり、地下街「クリスタ長堀」の建設に併せて、かつての心齋橋のイメージを取り入れて歩道橋から横断歩道となりました。「横断歩道」を「橋」のように見せる工夫として中央分離帯(幅11m)には、石材を再利用した欄干などを設置し、車道部(片側幅12m)には、車が踏んでも割れにくい15cm厚の石畳を設置しています。またガス灯も再現しています。

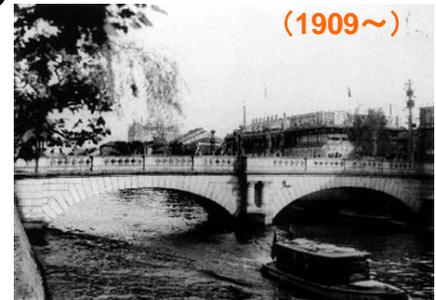
大阪市では、心齋橋の歴史を尊重し、この「道路の一部」を「橋」とみなしています。



現在の心齋橋



鶴見緑地にて一部保存
(1873~)



(1909~)



(1964~)

横断歩道橋は、映画「ブラックレイン」に少し登場しています。

